

赤外線リモコン受信ユニット

型名 **R-RS232C-M**

取扱説明書



株式会社ダイセン電子工業
DAISEN

REV200615

— 目 次 —

1. 概要	2
2. 構成	
2-1. システム構成	2
2-2. 受信機の構成	2
2-3. 外形寸法図	3
2-4. 受信機出力コード	4
2-5. 受信機のディップスイッチ設定	4
3. 仕様	4
4. <u>R-RS232C Tool のインストール</u>	
4-1. <u>インストールメニューの起動</u>	5
4-2. <u>はじめての起動</u>	6
5. <u>通信ポートの設定</u>	7
6. <u>データの登録</u>	
6-1. <u>サンプルデータファイルを開く</u>	8
6-2. <u>登録データの編集</u>	10
6-3. <u>編集データの登録</u>	11
6-4. <u>登録後の動作確認</u>	14

付属品

リモコン送信機 : TS32	1 台
設定ツール (CD)	1 枚
取扱説明書(本書)	1 部
A C アダプタ (DC12V-1A)	1 台

1. 概要

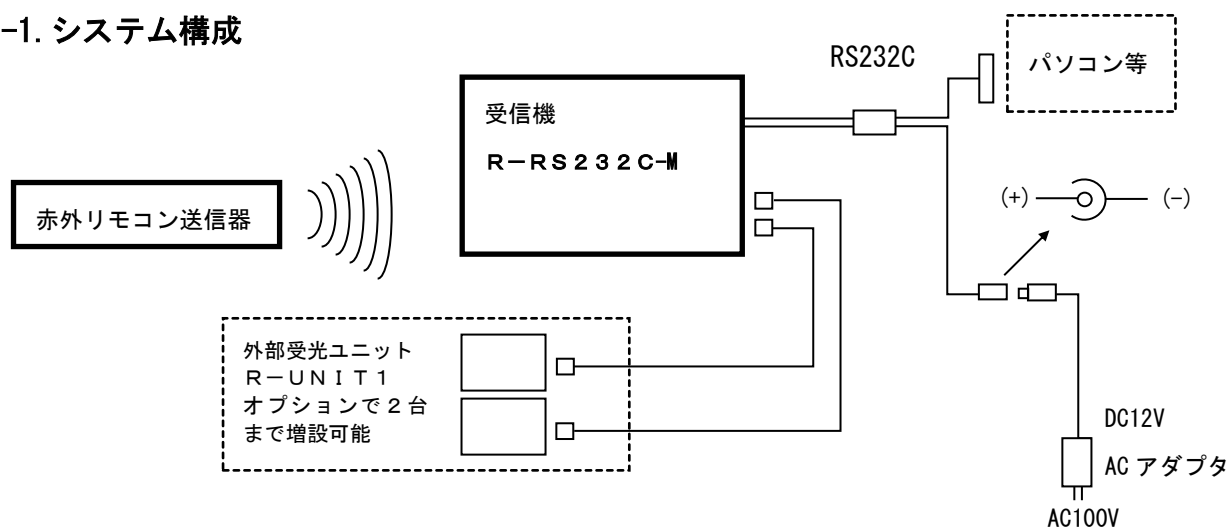
本機 R-RS232C-M は、赤外線リモコン受信機として動作し付属の赤外線リモコン送信機との組合せで構成されます。

赤外線リモコン送信機は押されたキーに対応した赤外線コードを送出します。

受信機は送信機からの赤外線信号を受信し、受信コードを RS 2 3 2 C 信号に変換して出力します。

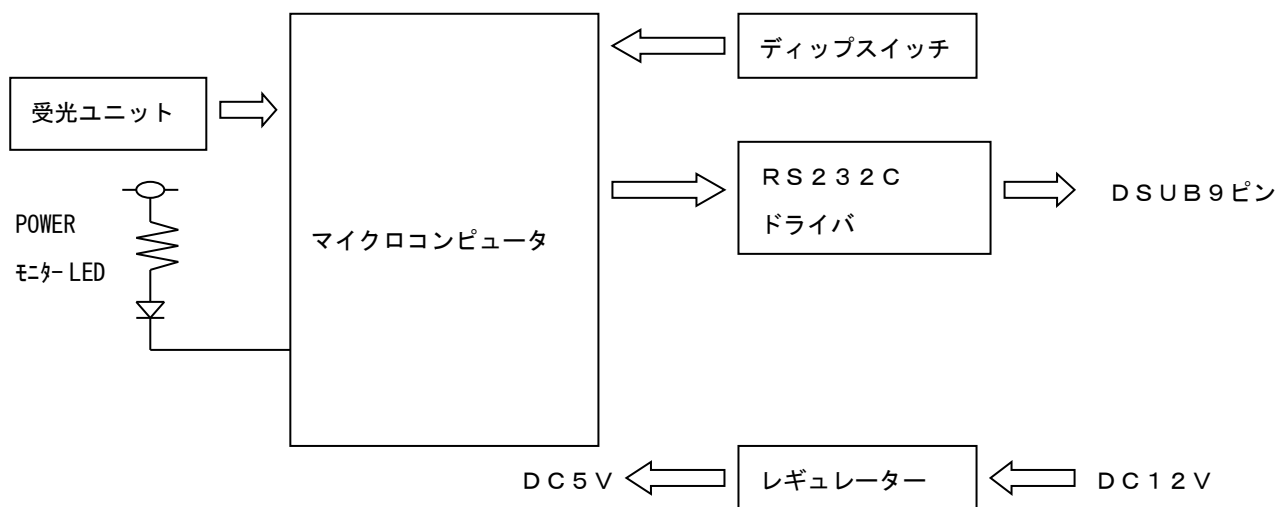
2. 構成

2-1. システム構成

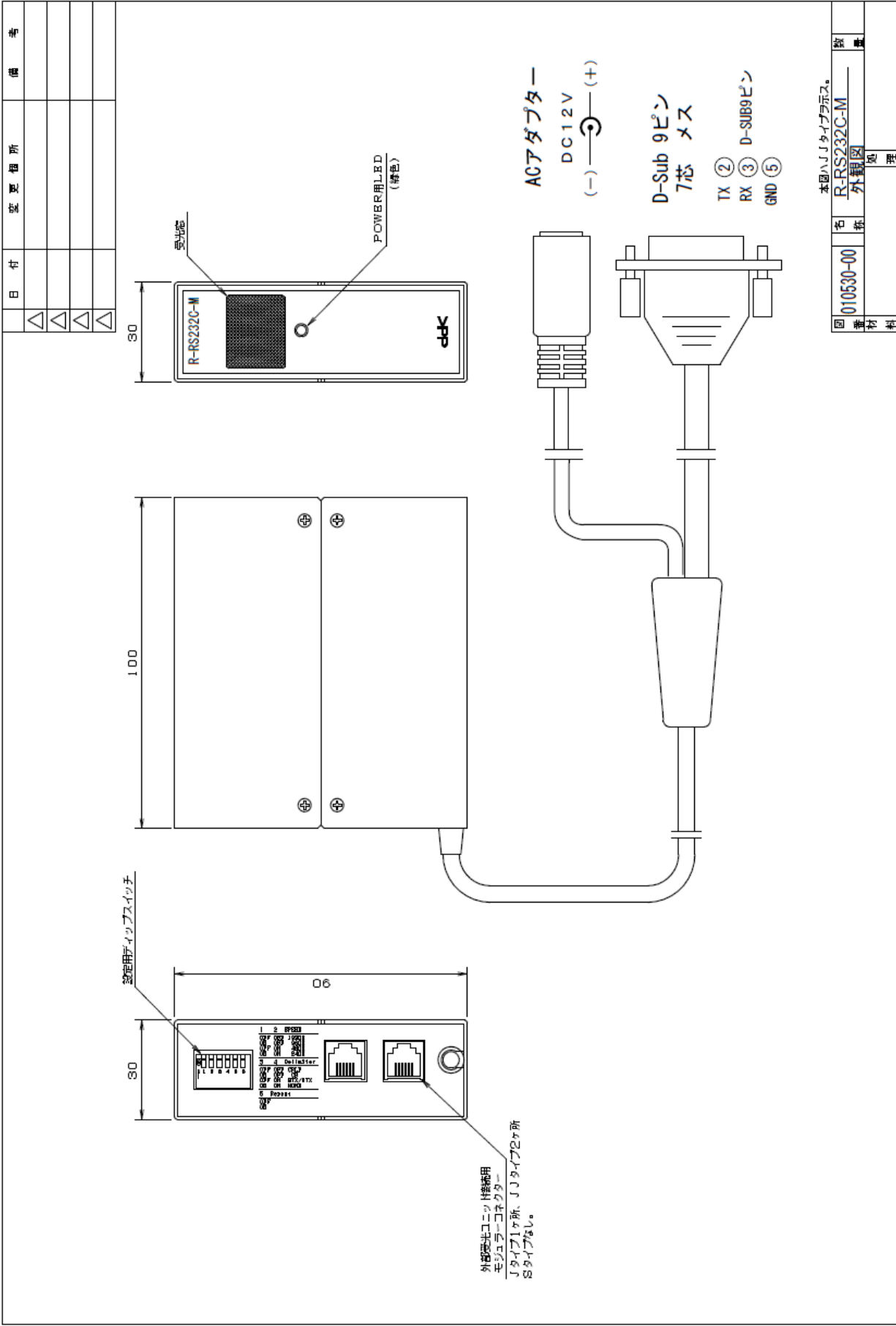


2-2. 受信機の構成

受信機は、受信した赤外線を電圧変換する「受光ユニット」、受信コードの解析、シリアル変換、ディップスイッチの読み込み等を行う「マイクロコンピュータ」と RS 2 3 2 C ドライバから成ります。電源は AC アダプター（DC 12 V）で供給され、内部で 5 V に変換されています。



2-3. 外形寸法図



本図は「J」タイプを示す。

図番	010530-00	名	R-RS232C-M	版	1
材料		図	外觀図	理	

2-4. 受信機出力コード

受信機は、送信機より送出された赤外信号を受信後、該当するキーの情報を下記に示しますアスキーコードに変換してRS232C信号で出力します。

1Key 30h+31h+0Dh+0Ah (ASCII表現 “01”+CRLF)
2Key 30h+32h+0Dh+0Ah (ASCII表現 “02”+CRLF)
|
64Key 36h+34h+0Dh+0Ah (ASCII表現 “64”+CRLF)

2-5. 受信機のディップスイッチ設定

受信機の後部にあるディップスイッチの設定で、RS232C通信のボーレートや出力コードに対する付加条件等の設定や出力コードの登録モードの切換を行います。

OFF	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
ON	1	2	3	4	5 6

No. 1 No. 2
OFF, OFF : 19200bps (出荷時)
ON, OFF : 9600bps
OFF, ON : 4800bps
ON, ON : 2400bps

No. 3 No. 4
OFF, OFF : CRLF
ON, OFF : CR
OFF, ON : STX·ETX
ON, ON : NONE

No. 5
OFF : 単発出力
ON : 連続出力

No. 6
OFF : 通常モード
ON-OFF : 登録モード

※No. 6 の登録モードは、電源投入時に ON-OFF を行います。(通常は OFF の状態でご使用下さい。)

詳細は R-RS232C-M の設定ツールのページを山椒して下さい。

通電中は、前面パネルの緑LEDが点灯しています。赤外リモコン信号受信時は、この緑色LEDは点滅します。

ディップスイッチの内容は、電源投入時に読み込まれますので、投入後の設定は無効です。

3. 仕様

受光部

受信赤外線波長 940nm
受信キャリア一周波数 38kHz

制御部

制御 マイクロコンピュータ制御
出力 RS232C
電源 DC12V (内部DC5V)
消費電力 約100mA

4. R-RS232C Tool のインストール

4-1. インストールメニューの起動

付属CDをパソコンにセットして、“ddkSetupMenu.exe”を実行して下さい。

インストールメニューが表示されます。

弊社販売(別売)のRS232C通信用USBシリアル変換ケーブルをご使用の場合は「Driver Install」ボタンをクリックしてドライバのインストールを先に行ってください。

本受信機 R-RS232C-M 用の設定ツールのインストールは「App. Install」ボタンをクリックします。

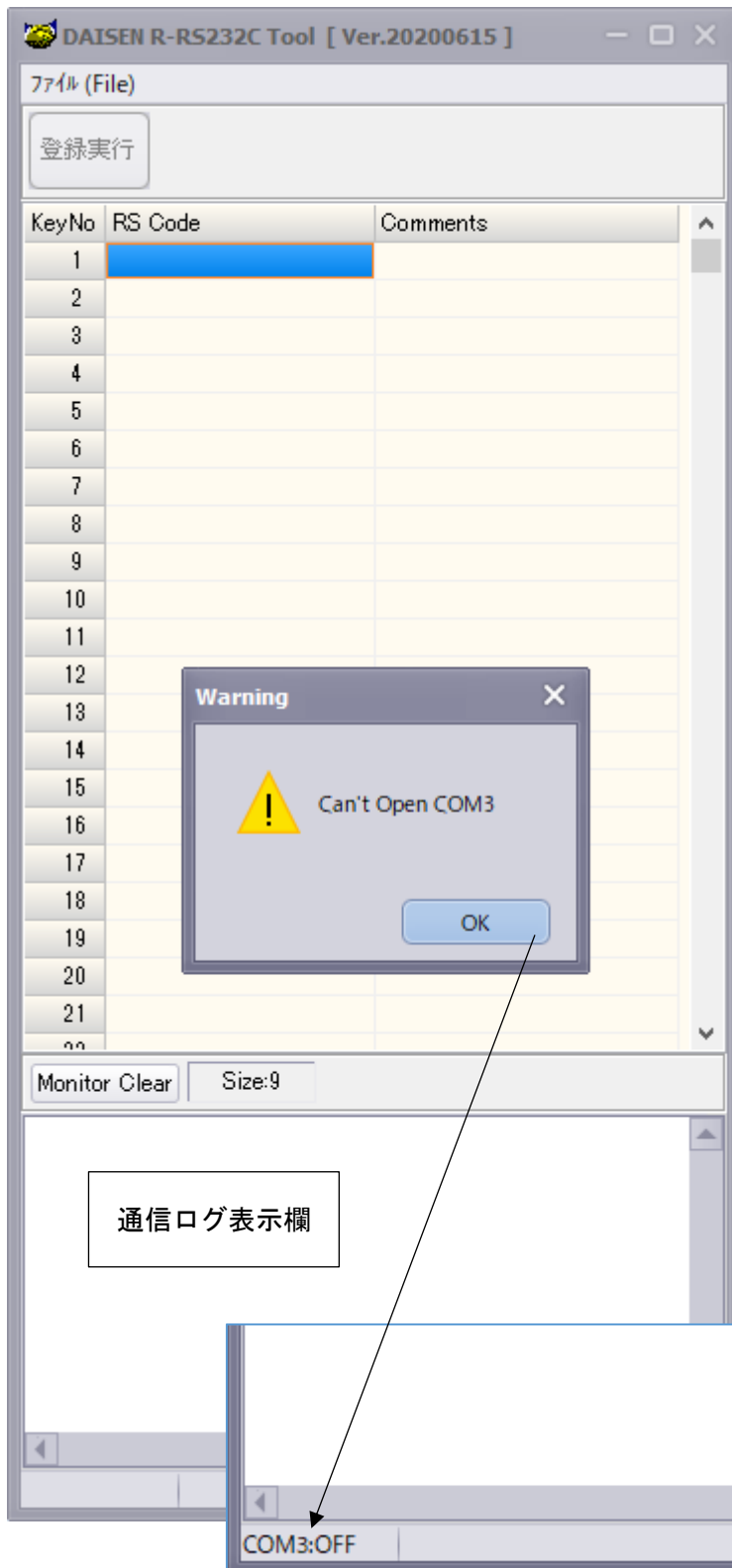


インストールウィザードが起動しますので、画面の指示に従って、順次「次へ」のボタンをクリックしていき「完了」ボタンクリックでインストールは終わり、この画面に戻ります。

PCのデスクトップに“R-RS232C Tool V200615”及びスタートメニューの「ddkApplications」の項目内に「R-RS232C Tool V200615」のショートカットが作成されます。

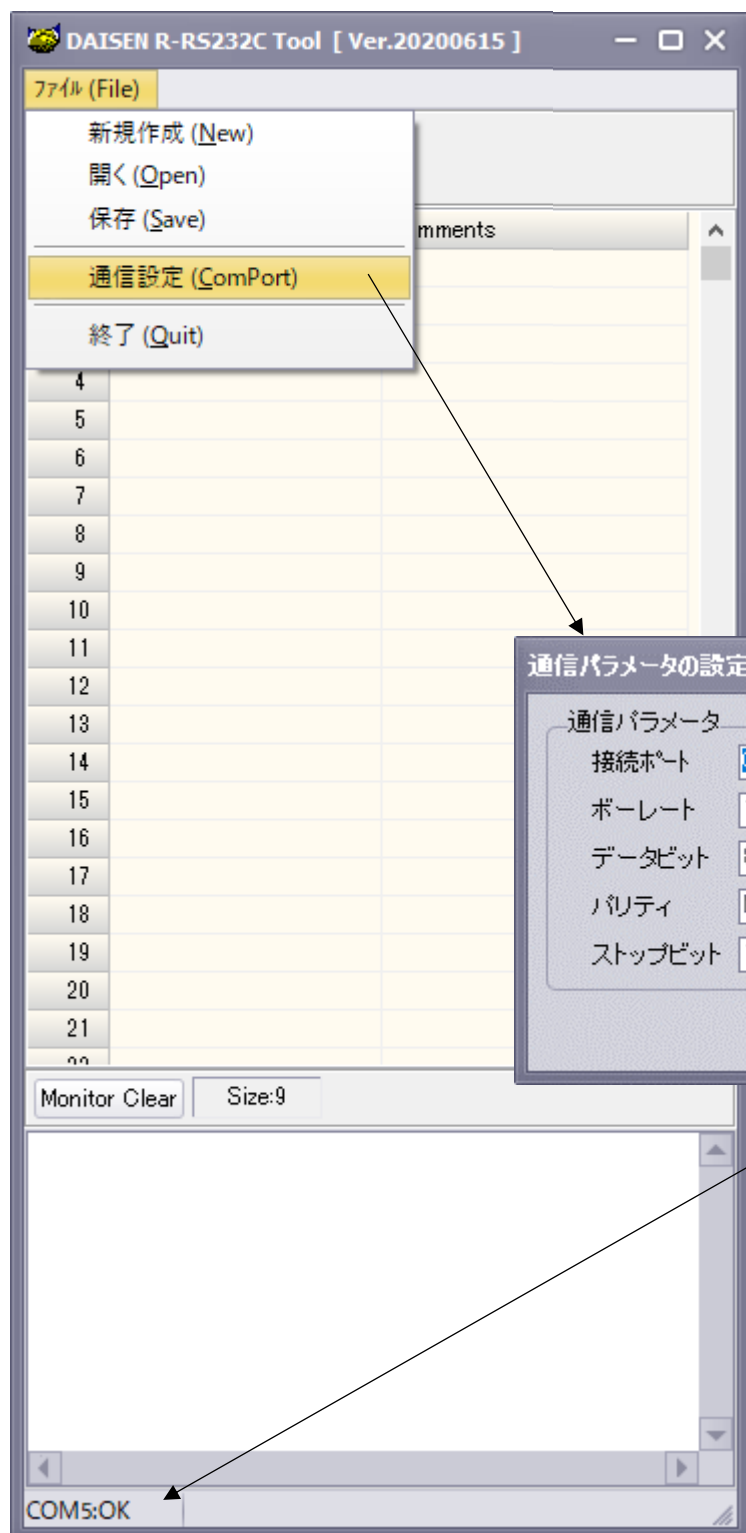
本書の取扱説明書は、「Documents」ボタンをクリックすると収納されているフォルダを表示します。最後に「閉じる」ボタンでインストールメニューは終了します。

4-2. はじめての起動



- ① R-RS232C-M に電源を供給してシリアル通信ケーブルをPCと接続します。
- ② PCのデスクトップのショートカット“R-RS232C Tool V200615”または、スタートメニューの「ddkApplications」から「R-RS232C Tool V200615」を選択して本アプリケーションを起動します。
- ③ はじめて起動した場合、PCのシリアル通信のCOMポートがデフォルトのCOM3でオープン出来ない旨のダイアログが表示された場合は「OK」ボタンをクリックしダイアログを閉じます。
- ④ ダイアログを閉じると画面下側のステータスバーに「COM3 : OFF」と表示されます。

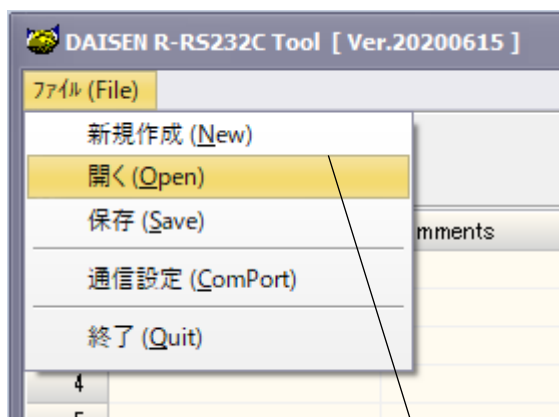
5. 通信ポートの設定



- ① システムメニューのファイルをクリックして「通信設定」メニューを選択すると接続可能なCOMポートをリストアップして通信パラメータ設定の接続ポートに表示されます。
- ② 「設定」ボタンをクリックして接続が正しければステータスバーに該当するCOMポート番号にOKが付加された表示となります。

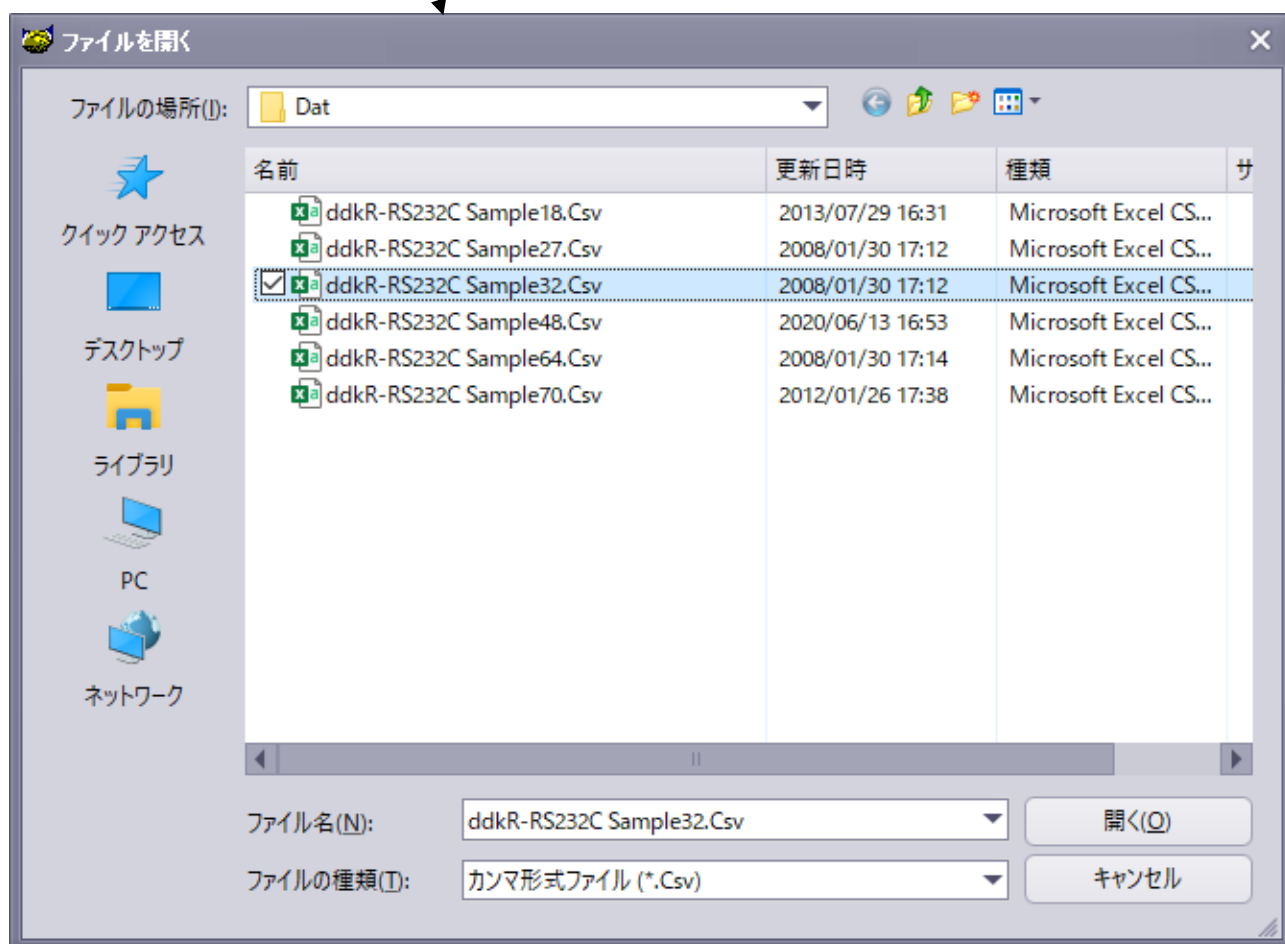
6. データの登録

6-1. サンプルデータファイルを開く



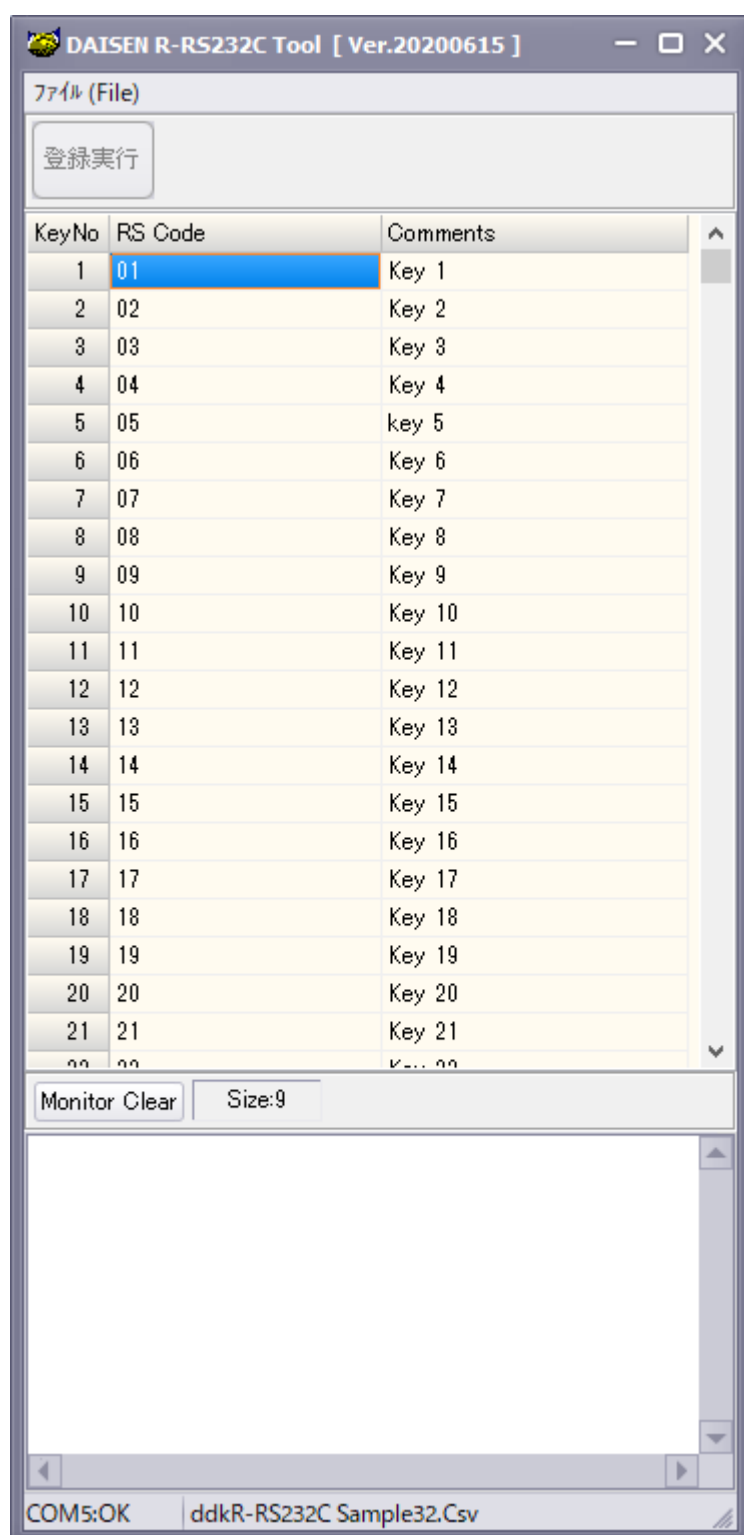
- ① システムメニューから「開く」を選択します。
- ② サンプルデータが収納されたフォルダのダイアログが表示されます

サンプルデータファイルは、インストールされたアプリケーションファイルのフォルダ配下に“Dat”という名前のフォルダ内にあります。



- ③ 該当すファイルを選択して「開く」でサンプルデータを読込んだ画面表示となります。

<< サンプルデータを読込んだ画面 >>



「RS Code」の項目に表示されているデータがリモコン送信機のボタン番号に対応した受信機の R-RS232-M から出力されるテキストコードです。

「Comments」の項目に表示されたデータは出力されるコードの説明テキストで動作には影響ありません。

サンプルデータのファイル名を表示します。

6-2. 登録データの編集

KeyNo	RS Code	Comments
1	01	Key 1
2	ABC0x0D0x0A123	Key 2
3	03	Key 3
4	04	Key 4
5	05	key 5
6	06	Key 6
7	07	Key 7
8	08	Key 8
9	09	Key 9
10	10	Key 10
11	11	Key 11
12	12	Key 12
13	13	Key 13
14	14	Key 14
15	15	Key 15
16	16	Key 16
17	17	Key 17
18	18	Key 18
19	19	Key 19
20	20	Key 20
21	21	Key 21

登録に必要な項目は、「RS Code」だけです。

「Comments」の項目は R-RS232C-M 本体へは送られません。データ管理上のメモとお考え下さい。

「RS Code」の登録データは、空白を含む半角 16 文字まで受付けます。

空白 (0x20) 以下の制御コードを登録する場合は、“0x”に続けて 2 桁の制御コードを入力して下さい。

例：“ABC” + CRLF + “123” の場合は、“ABC0x0D0x0A123” と入力して下さい。
“” は説明の為に表記しましたので実際の入力に必要ありません。

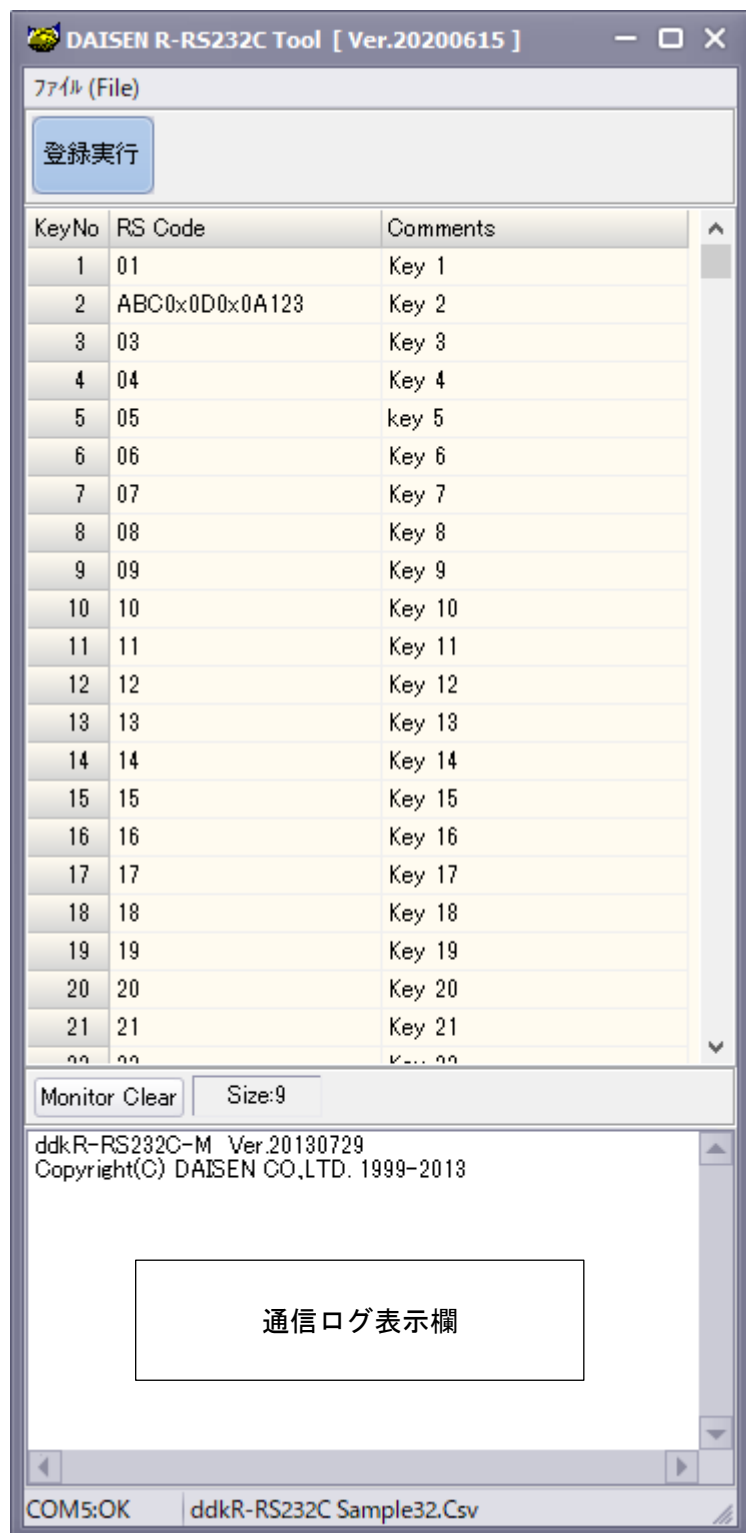
「RS Code」コードを出力したくない場合は空白にして下さい。

※ご注意

編集されたデータは忘れずに P C へ保存しておいて下さい。

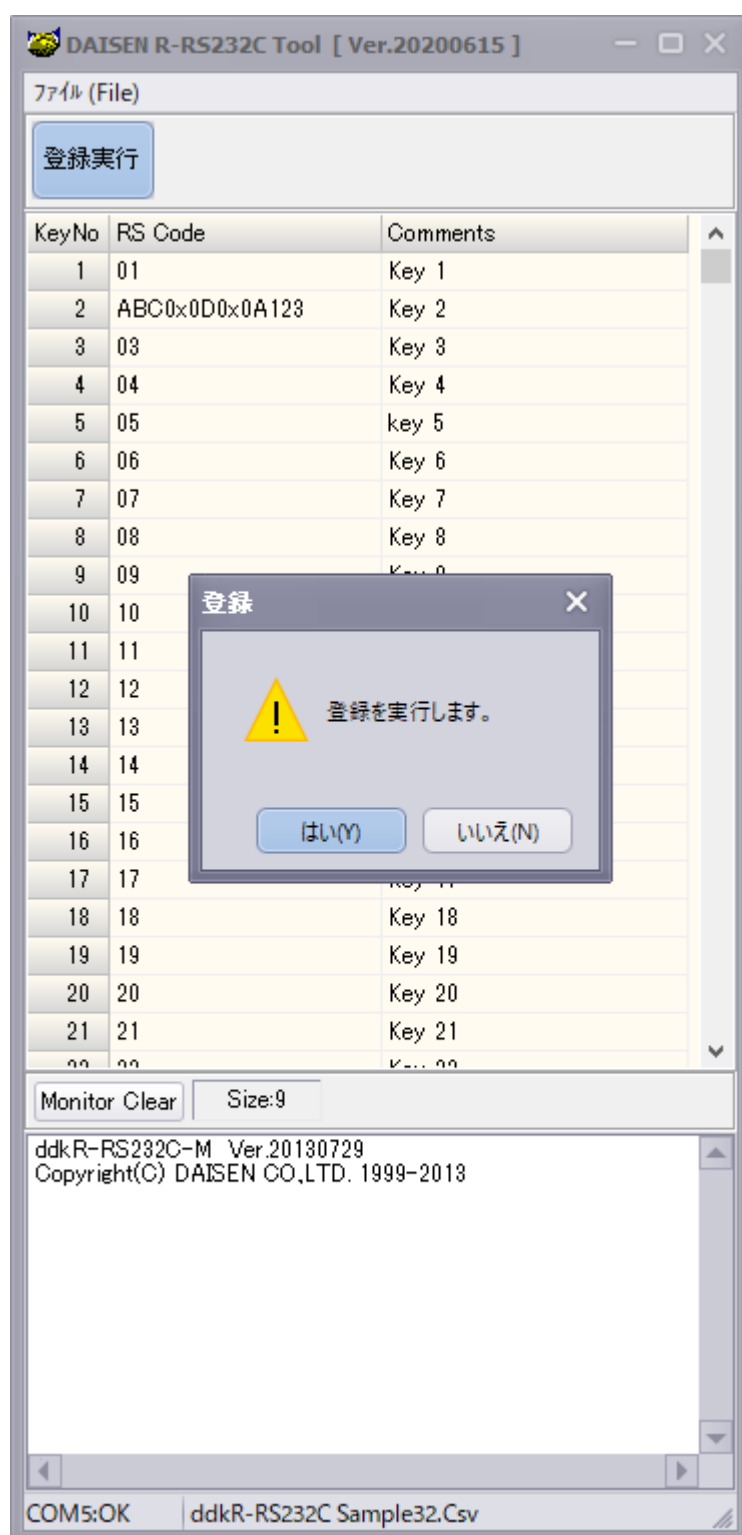
任意のファイル名で保存できます。

6-3. 編集データの登録



- ① 登録モードにする為に R-RS232-M の電源を一旦切ります。
- ② R-RS232C-M の後パネルにあるディップスイッチの No. 6 を ON にしてから再度電源を投入します。
- ③ 前パネルの緑色 LED が点滅しましたら、ディップスイッチの No. 6 を OFF に戻します。(緑色 LED は消灯)
- ④ R-RS232C-M が登録モードになったことを示す意味で、通信ログ表示欄にファームウェアのバージョンを表示します。
- ⑤ 「登録実行」ボタンをクリックしますと、登録実行の確認ダイアログが表示されます。

<< 登録開始のダイアログ表示 >>



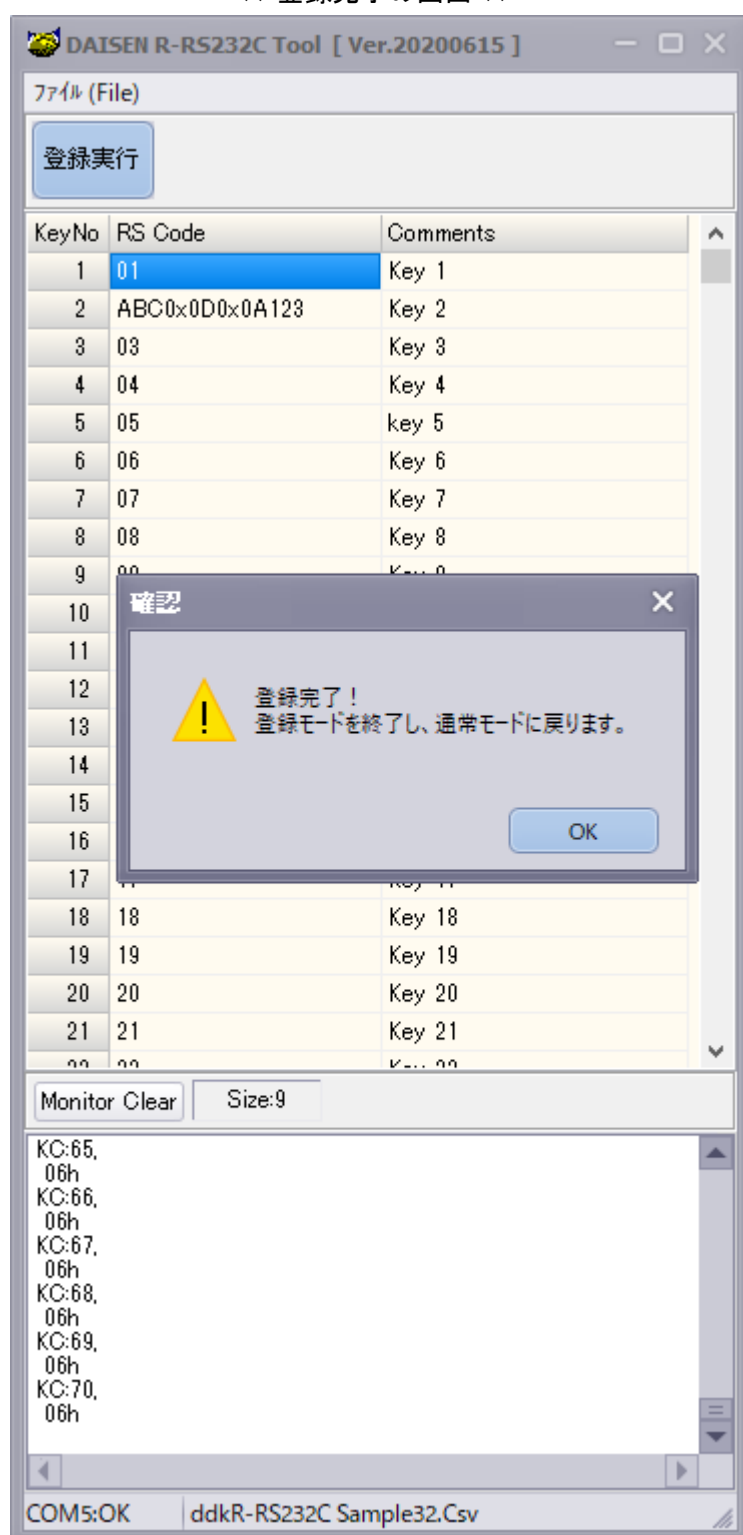
「はい」で実行、登録完了後に登録モードは解除され、通常モードとなります。

「いいえ」で登録中止をしますが、電源を切るまで登録モードは維持されます。

登録実行が開始されますとカーソルが順次移動して最終行まで進みます。最後に完了の確認ダイアログが表示されます。(次ページ参照)

R-RS232C-Mは最大70キーまで(標準品はTs32が付属)のリモコンに対応している為、キー数の少ないリモコンであっても70キー分登録します。登録に必要な無いキーは空白にすると、データは出力されません。

<< 登録完了の画面 >>

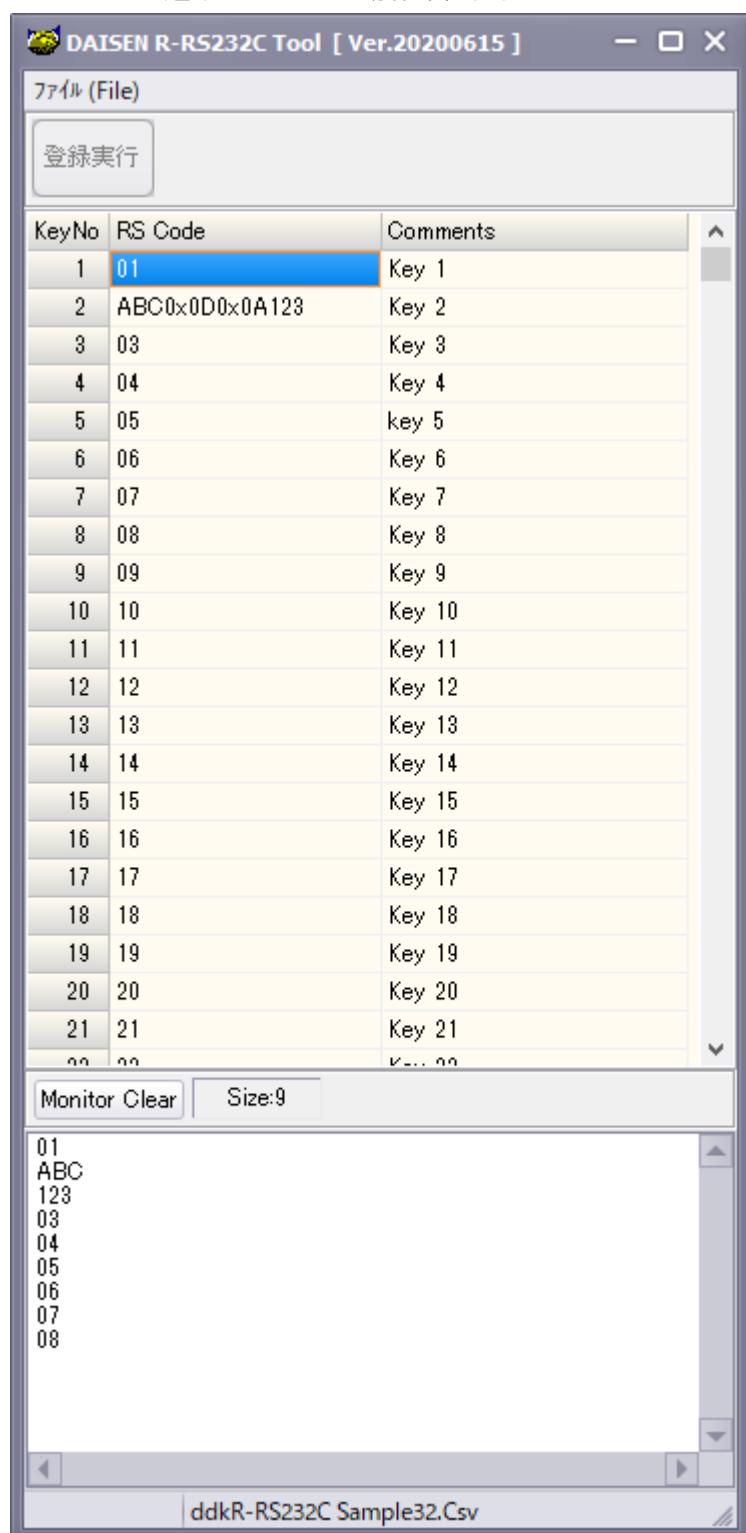


① 登録完了のダイアログが表示されましたら、「OK」ボタンをクリックします。

② 「OK」ボタンクリックで R-RS232C-M の登録モードは解除され、通常の運用モードに戻ります。通信ログ表示欄には“Quit of SetMode”と表示されます。

6-4. 登録後の動作確認

<< 通常モードでの動作確認画面 >>



通常モードになりましたら、リモコン送信機のボタンを押しますと、登録されたデータが、通信ログ表示欄に表示されます。

登録例では No. 2 の RS Code は
“ABC” + CRLF + “123” でしたので
リモコン送信機のキーを 1, 2, 3, 4, 5 と押した場合の通信ログは

01
ABC
123
03
04
05
となります。

各データのデリミタコードは後パネルのディップスイッチの No. 3, 4 の設定によります。

出荷時は両方とも OFF なので CRLF の設定となります。

▲ 注意

本製品は一般の民生・産業用として使用されることを前提に設計されています。人命や危害に直接的、間接的にかかわるシステムや医療機器など、高い安全性が必要とされる用途にはお使いにならないでください。

本製品の故障・誤動作・不具合によりシステムに発生した付随的障害および、本製品を用いたことによって生じた損害に対し、当社は一切責任を負いません。あらかじめご了承ください。

株式会社ダイセン電子工業
DAISEN

〒556-0005 大阪市浪速区日本橋 4-9-24
TEL: 06-6631-5553 / FAX: 06-6631-6886
URL: <http://www.daisendenshi.com>
e-mail: ddk@daisendenshi.com